

## 2021年度 一般社団法人 大曲青年会議所

### まちづくり委員会 年間事業計画

### レジリエンスと伝統の大仙郷へ

まちづくり委員会

委員長 進藤 祐太

新型コロナウイルスの感染拡大や、近年甚大な被害を引き起こしている豪雨災害は大仙郷に大きな被害をもたらしている一方、新しい生活様式の展開や災害からの復旧をきっかけとした防災意識の高まりによるレジリエンスの創出が期待されています。今こそ大仙郷を牽引する責任世代である我々が、地域に根差した伝統文化溢れる大仙郷を次代に継承するべく、レジリエンスをもった持続可能な地域を創出する運動を展開する必要があります。

まずは、未来の地域を担う青少年に大仙郷の魅力を伝えるために、青少年が思う未来の自分と魅力ある地域とは何かを探るきっかけを作ることで、青少年とともに地域を盛り上げます。そして、大仙郷を各自治体が推進している持続可能な都市とするために、疫病や災害に対し、関係者や他団体と連携し活動する機会を作ることで、防災活動への関心を高めます。さらに、地域への誇りを育むために、第15回全日本残月花火選手権大会を開催することで、残月花火を伝統文化として地域に賑わいを創出し盛り上げることを目指します。また、投票率向上のために、正しい政治選択と投票する意味を考えるきっかけを創出することで、有権者及び青少年の選挙へ参加することに対する意識の向上を図ります。そして、組織を起志回生するために、当事者意識をもって魅力やメリットを伝える会員拡大運動を行い、地域を盛り立てる同志を増やし、大曲JCの組織運営をより強固にします。さらに、子供たちの心と身体の健全な成長を促すために、秋田ブロック協議会等が主催するスポーツ事業を推進し積極的に事業参画することで、子供たちの健全な成長を促します。幾重にも共鳴した我々の運動は大仙郷の発展を担い、住まう人の防災意識の高まりは地域の魅力と伝統を守り、次代を担う青少年はこの地で夢を描き、地域を盛り立てる原動力となり、強いレジリエンスを持った地域へと起志回生し、持続可能な大仙郷を実現します。

## 【事業計画】

1. 会員拡大に関する事項
2. 青少年育成事業の企画・実施
3. 広域的・公益的な地域発展に関する事項
4. 全日本残月花火選手権大会の企画・実施
5. その他青少年育成に関する事項
6. その他地域発展に関する事項
7. 秋田ブロック等が主管するスポーツ事業への支援・協力
8. J C説明会の会場設営に関する事項
9. 大曲 J C ホームページ及び SNS へ掲載する原稿の作成